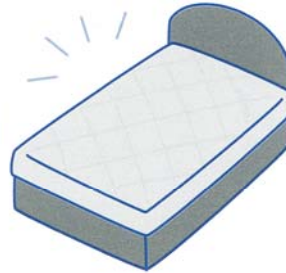
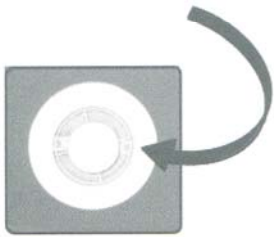


春と秋の過ごし方

換気システムのメンテナンス

1週間ごとに…

松下製の旧型では天井の排気グリルにメッシュ状のフィルターが付いており、埃がたまるのでダストスプレーで吹き払います。



外に干さなくても布団はいつもフカフカです。

2階

3ヶ月ごとに…

給気口のフィルターのメンテナンスをします。正規品は洗濯してきれいにし、自分で追加したフィルターは新しいものに交換します。排気グリルのフィルターは変性アルコール(エタノール)で洗浄しています。

このとき、合併浄化槽のブローアのフィルターも掃除します



冬や夏に比べて湿気が悪いので、除湿機の出番が多くなります。

花粉対策で室内に干せる設備を付けておいたくらいですから、この時期にも家の中に干しています。結局、今では一年中家の中に干しています。

1階

<p>穏やかな室内</p>	<p>季節の変わり目には、真夏日になったかと思うと翌日には冬の寒さに戻ったりします。気温変化で体調を崩す方が多いのですが、FPの家ではこのような心配もありません。外の気候が目まぐるしく変わっても、家の中の温度はあまり変化しないので助かります。</p>
<p>不思議な家?</p>	<p>人間の感覚は絶対値ではなく相対的な判断を下します。つまり、外の気温が急に暑くなった日は、室温の方が低くなるので家の中はとても涼しく感じるわけです。これとは反対に、同じ室温でも冷え込んだ日には室温の方が外気温より高くなるので暖かく感じます。</p>
<p>天気予報</p>	<p>冷房専用のエアコンを付けてしまったため、暖房は蓄熱暖房機だけに頼っています。おかげで天気にあわせて蓄熱量を調整する必要があることから、天気予報は欠かさずにチェックしています。ただしエアコンで暖房できるお宅では、エアコンを補助暖房として使えば苦勞することはないでしょう。</p>